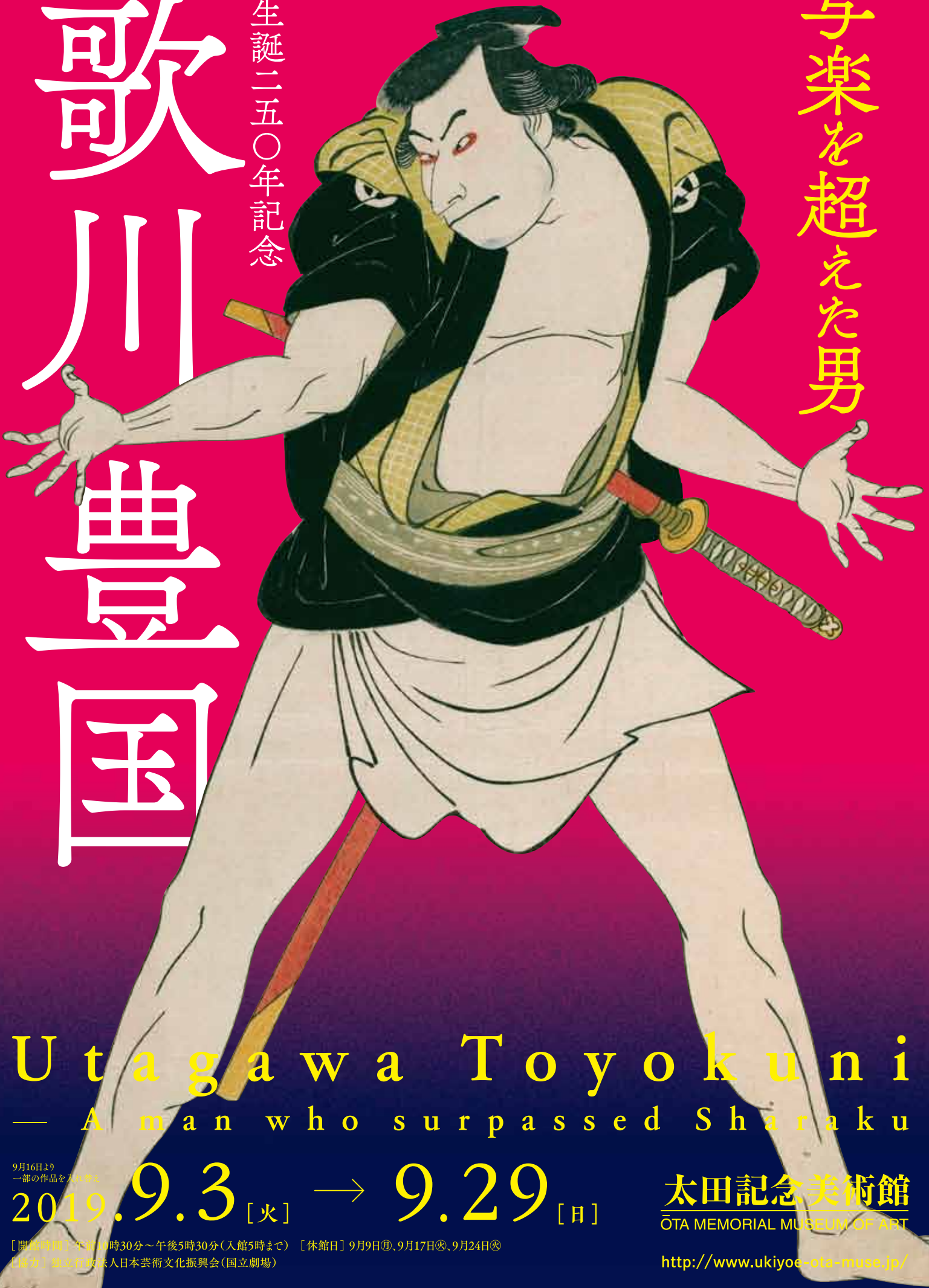


写楽を超えた男

生誕二五〇年記念

歌川
豊
玉



Uttagawa Toyokuni
— A man who surpassed Sharaku

9月16日より
一部の作品を欠かさない

2019.9.3 [火] → 9.29 [日]

太田記念美術館
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

【開始時間】平日10時30分～午後5時30分(入館5時まで) 【休館日】9月9日◎、9月17日◎、9月24日◎
【協賛】独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)

<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

表 歌川豊国「役者舞台之姿絵 まさつや」/① 歌川豊国「愛宕山夏景色」/② 歌川豊国「湯屋へ行く美人」/③ 歌川豊国「三代目市川高麗蔵の佐々木藏流」/④ 歌川豊国「夜舟の宗十郎」/⑤ 歌川豊国「美しんあはせ」
⑥ 歌川豊国「絵本時世粧」/⑦ 歌川豊国「役者舞台之姿絵 きの国や」/⑧ 歌川豊国「菅原伝授手習鑑」車引/⑨ 曲亭馬琴作/歌川豊国画「復讐奇譚稚枝鳩」巻之三 ※表・①～⑧は太田記念美術館蔵、⑨は個人蔵

写楽を超え、歌麿に挑み、北斎と競った男

2019年は初代歌川豊国(1769～1825)の生誕250年にあたります。豊国は歌川派の開祖、豊春に入門し、寛政時代(1789～1801)に東洲斎写楽や勝川春英と役者絵の分野で競いました。人気の上で写楽らを退けた豊国は、美人画では喜多川歌麿に挑み、版本挿絵では葛飾北斎と人気を

争うなど、超一流の絵師として活躍します。豊国のもとには国貞、国芳ら、才能あふれる若手絵師たちが集まり、幕末に歌川派が浮世絵の最大流派となる礎を築いたのです。本展は浮世絵史上にも重要な意味を持つ絵師、豊国の画業を追い、その魅力に迫る回顧展です。

初代歌川豊国生誕250年記念連携企画

国立劇場伝統芸能情報館 企画展示「歌川豊国—歌川派の役者絵—」

2019年10月2日～2020年1月27日

同展覧会関連講座もあり。詳しくは同館HPをご参照ください。<https://www.ntj.jac.go.jp/tradition.html>

《秋の歌川派フェスタ 豊国から国芳、芳年へ》

①9/3～9/29「生誕250年記念 歌川豊国—写楽を超えた男」

②10/4～10/27「歌川国芳—父の画業と娘たち」

③11/2～12/22「ラスト・ウキヨエ 浮世絵を継ぐ者たち— 豊俊彦コレクション」

2019年後半、太田記念美術館では歌川派を連続特集!

3つの展覧会すべてのチケットを集めた方にオリジナルグッズをプレゼント!

※プレゼントは3展のチケット半券と引き換え、なくなり次第終了します。

詳しくは当館HPをご参照ください。<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

【入館料】一般1,000円、大高生700円、中学生以下無料、団体(10名様以上)は1名あたり100円割引いたします。

【アクセス】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10 【JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分 東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分】

【問合せ】03-5777-8600(ハローダイヤル) 【公式サイト】<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/> 【公式Twitterアカウント】@ukiyoeta

